

こまざき美紀の提言が次々に実現!!



長期休暇中の学童クラブ
への宅配弁当導入～
区の協力体制が実現
(令和3年2月議会での訴えより)

今年の夏休みから、保護者主体で宅配弁当事業者の選定・管理運営が行えるよう、下記2点が実現しました。

- ①宅配弁当導入に関するご案内プリント配布
- ②学童クラブ側の協力体制の確立

(保護者へのプリント配布、印刷のサポートなど)



北区主導での導入には至らないため、残念ながら全ての学童での導入は叶っていません。
これからも必要な方が頼れるよう、粘り強く区全体としての導入を求めていきます。



重すぎるランドセル・鞄問題
置き勉の徹底とリュック登校OKに!
(令和3年6月議会での訴えより)

①小中学校の置き勉の更なる周知徹底
学校長会で再度の周知、教育指導主事の
学校訪問の際に現状確認・指導助言

②リュックでの登下校を当たり前に選択可能に
入学時の資料への記載や在校生に対しても周知する旨、区から校長会で依頼



～区長へ要望書を渡す小学生たち～

7月2日の校長会で周知済みです!

2020年9月～
2021年10月で
計200件以上

△助けてみっさー！△

区民の皆様からの 相談対応

・王子1丁目一方通行での逆走が多発!! 防止対策の実施

①一方通行と分かる看板設置(2箇所)
②路面標示「止まれ」の塗り替え(実施予定)を実施していただきました。

ビフォーアフター



・滝野川6丁目横断歩道前で一時停止しない車両多発! 注意喚起の看板設置

通行車両が停止線を守らないままスピードを落とさず横断歩道を通過してしまうという状況がありました。過去にはこの横断歩道で事故もあったとのこと。そこで、「歩行者優先一旦停止」という看板を2箇所、設置していただきました。



・王子1丁目孝基亭前のガタガタ歩道ブロック補修

レンガブロックが3cm以上凹凸のある状態になってしまっており、歩行者がつまづくことも。こちら一帯の補修をしていただきました。



こまざき美紀LINEオフィシャルアカウント

はじめました ぜひご登録ください!



こまざき美紀会派室
北区王子本町1-15-22
北区役所 第一庁舎 4階
info@komazakimiki.jp

2021年12月発行

みっきー通信 vol.11

区政レポート



北区議会議員

こまざき美紀

特集：不登校・新型コロナによる自宅療養者支援

元行政ウーマン
二児の母、
子どもたちの
ために。

こまざき美紀 プロフィール

1979年生まれ 福島県郡山市出身 赤羽在住
福島大学教育学部 中学校教員養成課程 理科 卒業

2013年…地域団体「北区はたらくママ★ネット」設立
自身が産後うつぎみになった経験から、そのようなママを増やすよう、語り場を開催

2018年…戸田市役所退職後、子育て支援NPOに勤務
15年勤務した市役所を退職。地域の課題により向き合ふべく、子育て支援のNPOに勤務

2019年…北区議会議員当選
北区史上最多の7,335票を賜り、トップ当選を果たす

その他の主な活動・役職など／子ども食堂運営スタッフ／児童養護施設「星美ホーム」の応援団
グリーンバード赤羽チーム ママリーダー（子どもたちと共に地元赤羽をきれいに楽しく地域清掃）

区議会議員の
仕事って？

- ✓ 区政のチェック
- ✓ 議案の審議
- ✓ 住民意見の把握
- ✓ 調査研究活動 など





9月議会も質問を ぶつけてみました!!

議会で
ツッコミ1

不登校問題の解決のために

-4つの対策を要望-

区議会議員が区民の皆さんに耳を傾け、よりよい区政へと反映させるための武器として使うものに一般質問があります。議会は2月・6月・9月・11月の年に4回。このツッコミのチャンスを毎回生かしています!

不登校は問題行動ではなく、どのお子さんにも起こりうることです。

自治体は不登校が原因で子どもの教育や社会的自立の格差が出ないよう支援しなくてはなりません。

1 登校をしぶるお子さんへのサポート 「家庭と子供の支援員」制度^(※)の公開・周知を

※ 家まで支援員がお迎えに行き、お子さんの登校をサポートする制度。
登校後の別室での寄り添いや家庭訪問による助言・相談なども行う。



祝
実現
北区からの答弁
ホームページなどで周知する
2021年10月に初公開・周知が叶いました



3 ICTを全面活用した 学習のサポート(オンライン学習・ オンライン授業など)

「教育機会確保法」により、自治体は学校以外の場であっても学習の機会を保障しなくてはなりません。



2 適応指導教室「ホップ・ステップ・ジャンプ」の拡充を

北区の不登校の小中学生は300人以上。しかし、実際に通うことができているのはたった11名程度。—あまりに少ない現状があります。

一方、視察に伺った世田谷区の「ほっとスクール希望丘」では受け入れ人数がすぐに埋まるほど需要があります。

明らかな違いは、北区の適応指導教室では、元校長等がメインとなって学習補助をされていることです。



1 社会的自立を促す「支援」を重視したスタッフ構成

2 居場所機能の増設

北区からの答弁

民間経験者的人材確保に努める。また、支援事例を研究し、事業運営に生かす

前進!
訴えにより

コロナ禍で
さらに深刻!!

4 生活困窮家庭へ 金銭的補助を

フリースクールや自宅学習の費用、昼食代を自費で支払わなくてはならず、大変な負担となっています。



議会で ツッコミ2

新型コロナによる自宅療養者支援

現状、新型コロナウイルス感染者数はだいぶ落ち着いてきています。

しかし、議会直前の9月の第1週目時点で北区の自宅療養者数は470名と大変深刻でした。

-2つの要望-

1 重症化リスクのある方へ 早急な抗体カクテル療法を (例:墨田区)



2

保健所職員や医療従事者の 負担軽減のため 積極的なICTツールの活用を

アップルウォッチを用いた容態確認など
積極的なICTツールの活用を。

北区からの答弁

北区医師会及びコロナ病床を有する医療機関と検討中であり、病院と診療所の連携による北区版の体制を開始予定

9月16日
から

重症化リスクのある方へ
「抗体カクテル療法」が
スタート!

詳細はこちら→



北区からの答弁

ICTツールを活用
したより効果的な
対策に努める。

